

国際交流が生んだ新たな挑戦！ 高校生たちによる「スーツケースプロジェクト」

ひょうごEXPO41「三木市の日」

9月13日(出)



9月13日を「三木市の日」として関西パビリオンで特別イベントを実施しました。内閣官房に認定されているフランスとの交流事業として三木高校とフランス・クロミエ高校が共同で取り組んだ「スーツケースプロジェクト」*の成果発表や地域資源の紹介など、国際交流を象徴する取組を発信。学生たちが一体となって三木の魅力を世界へ伝える一日となりました。

*コンセプトは、世界を旅するスーツケースがPR大使となり世界へ発信。三木高校とフランス・クロミエ高校の生徒が、互いの国・地域を世界に発信するため、両国の著名人や両市の特産品などをスーツケースに描き発信するプロジェクト。

参加した学生にお話を聞きました！



三木高校
関根グスタボさん

万博で三木の魅力を多くの人に紹介できたことが、一番の思い出です。今回の活動を通じて、金物や山田錦の素晴らしさを改めて実感し、世界に誇れる地域だと強く感じました。これからも、誇りをもって地域の魅力を伝えていきたいです。

スーツケースの制作は想像以上に複雑で大変でしたが、万博でこのプロジェクトを紹介できたことは私たちにとって忘れられない経験となりました。日本の著名人や文化を学びながら、塗装技術を磨けたことに感謝し、将来に役立てたいです。



クロミエ高校
エンゾ・パリスさん

万博での経験を未来へつなぐ

大阪・関西万博での取組は、三木市にとって地域資源や伝統などを再確認し、新たな挑戦へ踏み出す大きな一歩となりました。市民や事業者の皆さんと一体で世界に発信した経験は、これからのまちづくりや国際交流、産業振興につながる貴重な財産です。この成果を未来へつなぎ、「チーム三木」としてさらなる魅力づくりに生かしていきましょう。



これまでの取組を 市ホームページで公開中！

万博に関する取組を市ホームページでさらに詳しく紹介しています。未来を見据えたさまざまな取組をぜひご覧ください！



▲ホームページ

三木高校
×
フランス
クロミエ高校

近畿を代表するブランドが集結！三木が誇る地域資源をPR

"守・破・離"

～関西の伝統工芸等の未来への飛翔～

8月17日(日)

市と近畿経済産業局は、令和4年に万博を見据えて包括連携協定を締結。近畿経済産業局はこれまで三木を含む関西各地の地域ブランドを選定し支援を続け、その集大成として、万博会場で「見る」「触る」「嗅ぐ」「聞く」の4つの感覚を使った展示会「守・破・離」を開催されました。三木は田中一之刃物製作所の包丁や、酒米山田錦の展示、フランスのクリエイターと開発した肥後守の新商品発表、三木とフランスの高校生によるスーツケースプロジェクトを披露しました(スーツケースプロジェクトの詳細は次ページへ)。

関係者にお話を聞きました！



近畿経済産業局
ブランド展開支援室
谷本 真弓さん

文化や感性の価値を、世代や国境を越えて伝えるため、これまで三木市とともに歩んできました。当日、会場が熱気に包まれる中、三木市は日本を超えて魅了するスーツケースプロジェクトなどで面的に産地の魅力をPRされる姿が特徴的でした。今後の地場産業のさらなる発展を確信できる1日となりました。



ひごのかみ

肥後守×フランス 感性を融合させた新商品を堂々発表

肥後守新商品お披露目イベント

8月24日(日)

内閣官房に認定されているフランスとの交流事業として、フランスのデザイン集団「HALL HAUS」に所属する若手クリエイターのテディさんと永尾かね駒製作所がコラボし、1年半の歳月をかけて「肥後守」の新商品を開発。フランスパビリオンのイベントスペースで披露しました。伝統的な工芸品に海外の感性を融合させた新たな挑戦は、多くの来場者に驚きと関心を与えました。



▲HALL HAUSの象徴である円形のデザインや、日本文化に由来する波をイメージした持ち手に



▲(左)テディさん(右)永尾かね駒製作所 永尾さん

三木金物
×
フランス
クリエイター

番外編

フランスで三木をPR 国際交流の輪広がる

第51回クロミエワインとチーズの見本市

4月11日(金)～14日(月)

フランス・クロミエ市で開かれた「ワインとチーズの見本市」にヨーロッパ以外の自治体として初めて出展しました。三木高校とクロミエ高校による国際交流プロジェクト「スーツケースプロジェクト」の紹介や、肥後守の新商品お披露目、日本酒の販売などを行い、7万5千人以上が来場する大規模イベントで市の魅力を発信しました。

